平成28年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上 場 会 社 名　　富士石油株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　5017　　URL　http://www.foc.co.jp/
代　表　者　　(役職名)取締役社長　　(氏名)柴生田　敦夫
問合せ先責任者　　(役職名)総務部部長　　(氏名)簾内　清人　　(TEL)03(5462)7803

四半期報告書提出予定日　　平成27年11月12日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．平成28年３月期第２四半期の連結業績（平成27年４月１日～平成27年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年３月期第２四半期	217,256	△40.1	△8,597	―	△8,729	―	△8,936	―
27年３月期第２四半期	362,815	12.8	△1,124	―	△458	―	△819	―

(注)　包括利益　　28年３月期第２四半期 △9,124百万円 (　―%)　27年３月期第２四半期 △1,127百万円 (　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
28年３月期第２四半期	△115 97	―
27年３月期第２四半期	△10 63	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年３月期第２四半期	258,969	48,985	18.8
27年３月期	287,889	58,351	20.2

(参考) 自己資本　　28年３月期第２四半期　48,695百万円　　27年３月期　58,067百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
27年３月期	―	0 00	―	3 00	3 00
28年３月期	―	0 00			
28年３月期(予想)			―	6 00	6 00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成28年３月期の連結業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	467,000	△29.9	3,100	―	4,100	―	3,700	―	48 01

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（注)詳細は、添付資料４ページ「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年３月期２Ｑ	78,183,677株	27年３月期	78,183,677株
②　期末自己株式数	28年３月期２Ｑ	1,121,076株	27年３月期	1,121,076株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年３月期２Ｑ	77,062,601株	27年３月期２Ｑ	77,062,601株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュ―手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュ―手続きは終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ペ―ジ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、TDnetで同日開示するとともに、当社ホ―ムペ―ジに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるドバイ原油価格は、期初１バレルあたり50ドル台前半で始まりましたが、５月には米国シェールオイルに減産見通しが出てきたことや、中東情勢の悪化に伴い地政学リスクが意識されたこと等から60ドル台半ばの水準まで上昇しました。その後、中国経済の成長鈍化を受けた世界経済の減速懸念等から原油の需給緩和感が高まり、期末には40ドル台前半まで下落しました。この結果、期中平均は１バレルあたり約55ドルとなりました。

一方、期初１ドル119円台後半で始まった為替相場は、主に米国における利上げ観測等から５月下旬以降円安が進み、一時125円を超える水準となりました。しかし、８月中旬以降は中国をはじめとする新興国の景気先行きに対する懸念が深刻化したことから円を買い戻す動きが出て、期末には119円台後半となりました。この結果、期中平均は121円台後半となりました。

このような事業環境のもと、袖ケ浦製油所での原油処理量は、小規模定期修理を実施したこと等により、前年同期比568千キロリットル減の3,505千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、582千キロリットル減の3,541千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第２四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、小規模定期修理を実施したことや、原油価格の下落を受け販売価格が下落したこと等により、前年同期比1,455億58百万円減収の2,172億56百万円となりました。

損益につきましては、在庫影響（総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）が56億円の原価押し上げ要因（前年同期は14億円の原価押し上げ要因）となったこと等から、営業損失は85億97百万円（前年同期比74億73百万円減益）となりました。経常損失は87億29百万円（前年同期比82億70百万円減益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は89億36百万円（前年同期比81億17百万円減益）となりました。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、前期に比べ原油価格が大幅に下落したことによるアスファルトピッチの採算改善や自家燃料費の低減等はあったものの、小規模定期修理の影響等により、営業損失相当額は29億円（前年同期比33億円減益）、経常損失相当額は30億円（前年同期比41億円減益）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比べ287億38百万円減少の1,338億95百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少176億88百万円、たな卸資産の減少83億40百万円、未収入金の減少36億33百万円であります。

（固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末とほぼ同額の1,250億74百万円となりました。

（流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比べ168億57百万円減少の1,580億97百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少73億28百万円、未払金の減少45億６百万円、未払揮発油税の減少32億30百万円であります。

（固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末と比べ26億95百万円減少の518億86百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少23億32百万円、修繕引当金の減少５億12百万円であります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ93億66百万円減少の489億85百万円となりました。主な要因は、資本剰余金の減少157億46百万円、利益剰余金の増加65億75百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して21億63百万円増加し、164億12百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

前第２四半期連結累計期間においては、仕入債務の増加98億31百万円、売上債権の減少76億53百万円等による収入が、たな卸資産の増加11億22百万円等による支出を上回ったことにより、キャッシュ・フローは340億35百万円の収入となりました。一方、当第２四半期連結累計期間においては、売上債権の減少176億88百万円、たな卸資産の減少83億40百万円等による収入が仕入債務の減少73億28百万円、未払消費税等の減少50億95百万円等による支出を上回ったことにより、キャッシュ・フローは66億89百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

前第２四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得12億20百万円等により、キャッシュ・フローは16億33百万円の支出となりました。一方、当第２四半期連結累計期間においても、有形固定資産の取得12億87百万円、定期預金の払戻９億53百万円等により、キャッシュ・フローは４億32百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

前第２四半期連結累計期間においては、短期借入金の純減少275億90百万円、長期借入金の純減少32億75百万円等により、キャッシュ・フローは313億12百万円の支出となりました。一方、当第２四半期連結累計期間においては、長期借入金の純減少22億12百万円、短期借入金の純減少16億49百万円等により、キャッシュ・フローは41億55百万円の支出となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回予想（平成27年５月12日発表）以降の原油価格及び為替レート変動等を勘案し、通期の業績予想を修正します。今回の修正見通しの前提として、原油価格（ドバイ原油）は下期50ドル／バレル（前回予想同60ドル／バレル）、為替レートは下期122.5円／ドル（前回予想同120円／ドル）といたしました。

売上高は、原油価格の想定を引き下げたことにより、前回予想比490億円減収の4,670億円となる見通しです。

損益につきましては、下期において製品マージンの回復や原油価格下落によるアスファルトピッチの採算改善、自家燃料費の低減等により前回予想より増益を見込むものの、上期実績が製品マージンの縮小及び在庫評価損の計上等により前回予想を大きく下回ったことで、営業利益31億円（前回予想比61億円減益）、経常利益41億円（同43億円減益）、親会社株主に帰属する当期純利益37億円（同38億円減益）となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた営業利益相当額は48億円（前回予想比20億円減益）、経常利益相当額は58億円（同２億円減益）となる見通しです。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日）等を、第１四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,217	16,437
受取手形及び売掛金	61,569	43,880
有価証券	235	235
たな卸資産	79,072	70,731
未収入金	4,497	864
繰延税金資産	215	521
その他	1,826	1,224
流動資産合計	162,633	133,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,498	11,322
油槽（純額）	3,220	3,349
機械装置及び運搬具（純額）	24,530	22,422
土地	51,664	51,664
建設仮勘定	1,315	1,635
その他（純額）	237	234
有形固定資産合計	91,466	90,629
無形固定資産		
ソフトウエア	417	397
その他	162	153
無形固定資産合計	579	551
投資その他の資産		
投資有価証券	13,827	14,616
長期貸付金	958	958
退職給付に係る資産	47	26
長期未収入金	18,296	18,264
その他	545	492
貸倒引当金	△466	△464
投資その他の資産合計	33,208	33,893
固定資産合計	125,255	125,074
資産合計	287,889	258,969

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成27年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,892	22,564
短期借入金	90,394	88,666
1年内返済予定の長期借入金	6,368	6,488
未払金	21,839	17,332
未払揮発油税	21,492	18,262
未払法人税等	95	67
その他	4,872	4,716
流動負債合計	174,955	158,097
固定負債		
長期借入金	36,464	34,132
繰延税金負債	9,630	9,953
特別修繕引当金	2,265	2,231
修繕引当金	2,962	2,450
退職給付に係る負債	2,848	2,734
役員退職慰労引当金	40	22
その他	369	362
固定負債合計	54,582	51,886
負債合計	229,537	209,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	57,215	41,469
利益剰余金	△22,330	△15,755
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	57,921	48,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	242	△161
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△600	△365
退職給付に係る調整累計額	503	470
その他の包括利益累計額合計	146	△54
非支配株主持分	284	290
純資産合計	58,351	48,985
負債純資産合計	287,889	258,969

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
売上高	362,815	217,256
売上原価	362,105	224,060
売上総利益又は売上総損失（△）	709	△6,804
販売費及び一般管理費	1,834	1,793
営業損失（△）	△1,124	△8,597
営業外収益		
受取利息	11	13
受取配当金	184	31
為替差益	939	－
持分法による投資利益	1,233	1,249
タンク賃貸料	83	65
その他	227	234
営業外収益合計	2,680	1,594
営業外費用		
支払利息	1,450	1,023
為替差損	－	145
タンク賃借料	130	130
その他	433	425
営業外費用合計	2,014	1,726
経常損失（△）	△458	△8,729
特別利益		
国庫補助金	－	1
特別利益合計	－	1
特別損失		
固定資産売却損	36	－
固定資産除却損	22	6
ゴルフ会員権評価損	3	4
特別損失合計	62	11
税金等調整前四半期純損失（△）	△521	△8,739
法人税、住民税及び事業税	4	100
法人税等調整額	254	83
法人税等合計	258	184
四半期純損失（△）	△779	△8,923
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	12
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△819	△8,936

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年９月30日）
四半期純損失（△）	△779	△8,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	△403
繰延ヘッジ損益	△0	－
為替換算調整勘定	△72	43
退職給付に係る調整額	△10	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	△325	191
その他の包括利益合計	△348	△200
四半期包括利益	△1,127	△9,124
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,167	△9,137
非支配株主に係る四半期包括利益	40	12

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△521	△8,739
減価償却費	4,430	3,827
修繕引当金の増減額（△は減少）	987	△512
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△159	△124
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	△2
特別修繕引当金の増減額（△は減少）	27	△34
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	0	△17
受取利息及び受取配当金	△195	△45
支払利息	1,450	1,023
持分法による投資損益（△は益）	△1,233	△1,249
固定資産除却損	22	6
固定資産売却損益（△は益）	36	－
ゴルフ会員権評価損	3	4
売上債権の増減額（△は増加）	7,653	17,688
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,122	8,340
仕入債務の増減額（△は減少）	9,831	△7,328
未払揮発油税の増減額（△は減少）	1,130	△3,230
未払消費税等の増減額（△は減少）	6,889	△5,095
その他	6,110	2,820
小計	35,340	7,331
利息及び配当金の受取額	401	287
利息の支払額	△1,504	△1,028
法人税等の支払額	△246	△145
法人税等の還付額	43	244
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,035	6,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△709	△10
定期預金の払戻による収入	100	953
有価証券の売却による収入	－	29
投資有価証券の取得による支出	△0	△100
子会社の清算による収入	－	37
国庫補助金等による収入	－	1
有形固定資産の取得による支出	△1,220	△1,287
有形固定資産の売却による収入	121	－
無形固定資産の取得による支出	△50	△61
貸付けによる支出	－	△0
貸付金の回収による収入	0	1
その他	126	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,633	△432

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△27,590	△1,649
長期借入れによる収入	50	1,500
長期借入金の返済による支出	△3,326	△3,712
配当金の支払額	△386	△230
非支配株主への配当金の支払額	△2	△7
その他	△58	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,312	△4,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	61
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,030	2,163
現金及び現金同等物の期首残高	12,701	14,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,732	16,412

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは石油精製／販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。